



# SPFレコード・DKIM署名・DMARC 設定方法

AgentMAIL／ラブレターテンプレート単体プラン

# なぜDKIM署名の設定が必要なの？

Gmailのサポートページを確認したことはありますか？

<https://support.google.com/mail/answer/81126>

上記URLから確認できますが、右側に画像も添付しておきます。

2023年10月にこちらのページが更新されました。

『**2024年2月以降、Gmailアカウントに1日あたり5,000件を超えるメールを送信する送信者は、送信ドメインにSPFレコード・DKIM署名・DMARCメール認証の設定が必要です**』と、記載があります。

**SPFレコード・DKIM署名・DMARCメール認証が未設定の場合、**

**メールが想定通りに配信されなかったり、迷惑メールに分類される可能性がある。**

と記載されていますが、

**この設定をしないと、今後Gmailにはメールが届かないと思った方がいいです。**

SPFとは、メールマガジンの送信元情報を保証する技術。

DKIMとは、メールマガジンの信頼性を保証する技術。

DMARCとは、SPFレコードやDKIM署名での認証に失敗したときにそのメールをどのように処理するのかを設定をする仕組み。

メールの安全性を保証するこれらの設定を行っておけば、

**メールマガジンの受信精度の向上に繋がり、しいては開封率の向上にも繋がります。**

SPFやDKIMは、宛先がGmailのメールアドレスに対してだけの技術でなく一般的な技術となりますので、他のメールアドレスに対しても有効となります。

AgentMAILに限らず、

メールマガジン配信サービスを使用する時には必ず設定すべき設定となります。

## メール送信者のガイドライン

⚠️ 重要: Gmailでは2024年2月以降、Gmailアカウントに1日あたり5,000件以上のメールを送信する送信者に対し、1.送信メールを認証すること、2.未承諾のメールまたは迷惑メールを送信しないようにすること、3.受信者がメールの配信登録を容易に解除できるようにすること、の3つが義務付けられます。詳しくは、[1日あたり5,000件以上のメールを送信する場合の要件](#)をご覧ください。

この記事のガイドラインに沿った対応を行うことで、個人用Gmailアカウントにメールが正常に送信、配信されるようになります。個人用Gmailアカウントとは、末尾が@gmail.comまたは@googlemail.comのアカウントを指します。

Google Workspaceの送信者: Google Workspaceを使用して大量のメールを送信する場合は、[Gmailでの迷惑メールや不正行為に関する規定](#)をご確認ください。この規定は[Google Workspace利用規約](#)の一部です。

### 送信者の要件の更新

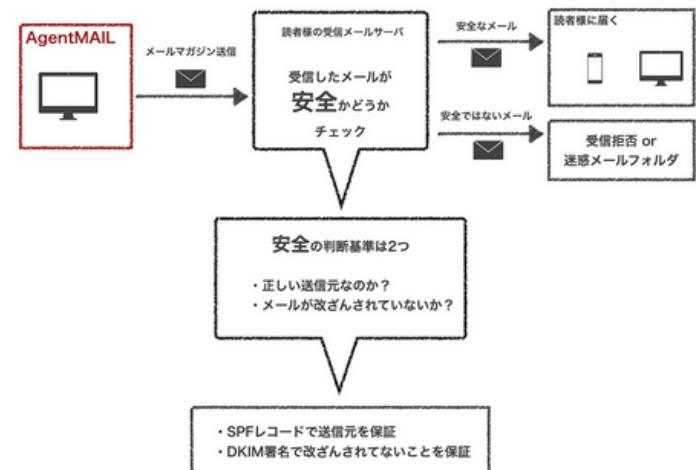
次の表は、送信者のガイドラインに対する更新の一覧です。

送信者の要件	追加日
メールの送信にTLS接続を使用する	2023年12月

### 送信者のガイドライン

以下のガイドラインに沿った対応を行うと、メールがGmailアカウントに確実に配信されるうえ、Gmailで送信レートが制限されることや、メールがブロックされたり、迷惑メールに振り分けられたりすることを防ぐことができます。

これらの要件を満たす方法について詳しくは、[メール送信者のガイドラインに関するよくある質問](#)をご覧ください。



# SPFレコード・DKIM署名の設定をしよう！

下記ステップの番号をクリックしたら、各ステップの1ページ目に移動できます。

## Step1からStep5までを完了させる必要があります

※独自ドメインを取得済みで、既にメールアドレスをお持ちの方はStep2からスタートしてください

1

独自ドメインを取得して  
メールアドレスをつくろう

2

SPFレコードを設定しよう

3

DKIM署名を設定しよう

4

メールマガジンの差出人  
メールアドレスに設定しよう

5

DMARCの設定をしよう

SPFレコード、DKIM署名、DMARCは、ドメインに関する設定となります。

Gmailやyahoo等のメールアドレス、プロバイダ発行のメールアドレスでは行えません。

そこで、自分が管理できるドメイン（独自ドメイン）が必要となります。

そして独自ドメインのメールアドレスを作成し、SPFレコード設定、DKIM署名設定を行った上で、  
メールマガジンの差出人メールアドレスとして設定することで、SPFレコード設定やDKIM署名設定が初めて有効な設定となります。

普段の生活でよく聞く言葉ではないため、難しいと感じるかもしれませんが、

ステップ毎に一つずつ設定していくけば必ずできますので、お時間がある時に余裕をもって取り組んでみましょう！！

準備！

DKIM署名を設定したいプロジェクトを選択して、AgentMAILのTOPページを開いておいてください。  
そして、新しいタブで次のStep1からを設定ていきましょう。

# Step1 独自ドメインを取得してメールアドレスをつくろう！

【手順1】エックスサーバーに登録しよう！

今回はXserver(エックスサーバー)という会社を例に説明をしていきます。  
必ずこちらの会社を使用する必要はありません。お好きな会社と契約していただいて構いません。

## Xserver !今村海のおすすめポイント！！

- ①独自ドメイン永久無料特典がついている（条件あり [詳細を確認する](#)）
- ②お得なキャンペーンをよくやっている ③管理画面がシンプルで使いやすい
- ④ドメインはここ、サーバーはこっち、と安い会社を見つけるのも1つの手だが、まとまっている方が管理がしやすい

## ファーストステップ！

まずはアカウントを作成するところからスタート。  
『10日間無料お試し 新規申し込み』をクリックして先へ進もう！プランは一番安いスタンダードプランでOK。  
無料お試し期間中に動作を確認して問題がなければ、本契約手続きをしましょう！  
(独自ドメイン永久無料特典を受ける為には本契約を完了させる必要があります。)

①お申し込みページに進む



お申し込みはこちら

### ワンポイントアドバイス

独自ドメインを取得済みで、既にメールアドレスをお持ちの方はStep2からスタートしてください。独自ドメインは取得しているけれど、メールアドレスの設定がまだの方は10ページからスタートしてください。

②「10日間無料お試し 新規お申込み」をクリック

Xserver レンタルサーバー お申し込みフォーム



初めてご利用のお客様

10日間無料お試し 新規お申込み

XserverアカウントIDをお持ちのお客様

XserverアカウントID または メールアドレス  
pxx12345/sample@example.com

パスワード

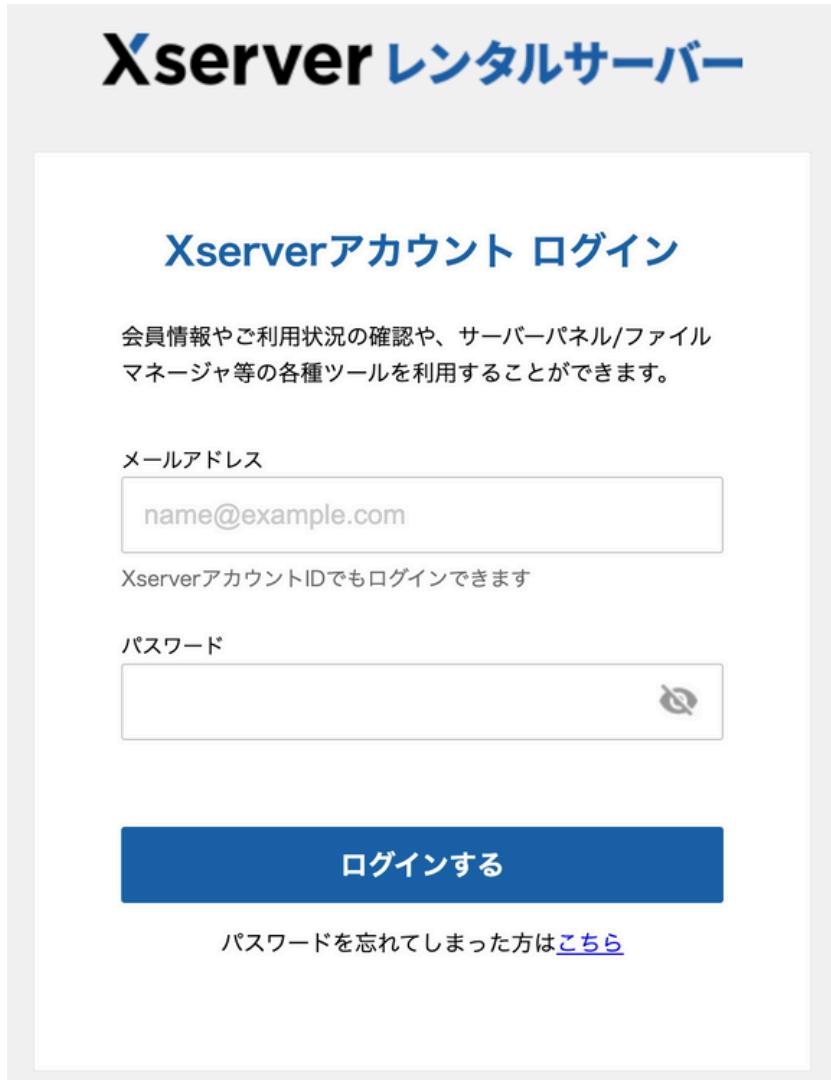
パスワードをお忘れの方はこちら

ログイン

# Step1 独自ドメインを取得してメールアドレスをつくろう 2

【手順2】独自ドメイン永久無料特典の申請をして、独自ドメインを取得しよう！

## ①X serverにログイン



## ②「10日間無料お試し 新規お申込み」をクリック



# Step1

## 独自ドメインを取得してメールアドレスをつくろう 3

【手順2】独自ドメイン永久無料特典の申請をして、独自ドメインを取得しよう！

### ③希望するドメインを入力



独自ドメイン永久無料特典取得申請

区分  新規取得  移管申請  取得済みのドメインを永久無料に切り替える

ドメイン名 www.  com

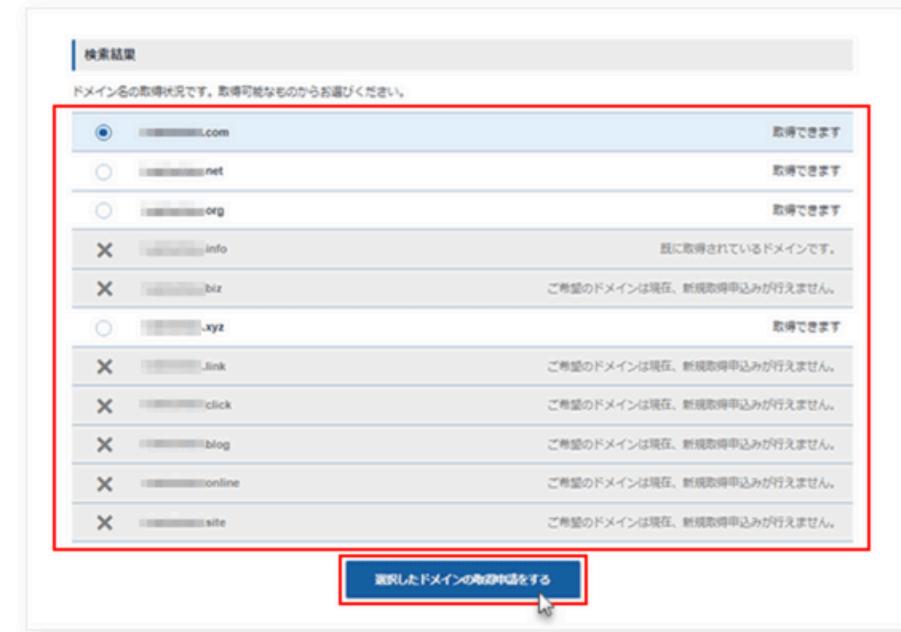
検索する

<戻る

- 新規取得…ドメインの新規取得をする場合
- 移管申請…他社からドメイン移管をご希望の場合

※サーバーが本契約となり、独自ドメイン永久無料特典申し込み対象の場合、申請フォームが表示されます。

### ④確認・独自ドメイン永久無料特典申請



検索結果

ドメイン名の取得状況です。取得可能なものからお選びください。

<input checked="" type="radio"/> ■■■■■.com	取得できます
<input type="radio"/> ■■■■■.net	取得できます
<input type="radio"/> ■■■■■.org	取得できます
X ■■■■■.info	既に取得されているドメインです。
X ■■■■■.biz	ご希望のドメインは現在、新規取得申請が行えません。
<input type="radio"/> ■■■■■.xyz	取得できます
X ■■■■■.link	ご希望のドメインは現在、新規取得申請が行えません。
X ■■■■■.click	ご希望のドメインは現在、新規取得申請が行えません。
X ■■■■■.blog	ご希望のドメインは現在、新規取得申請が行えません。
X ■■■■■.online	ご希望のドメインは現在、新規取得申請が行えません。
X ■■■■■.site	ご希望のドメインは現在、新規取得申請が行えません。

選択したドメインの取得申請をする

ドメイン名に誤りがないか確認のうえ、  
「選択したドメインの取得申請をする」をクリック。

※ドメイン取得後は、ドメイン名を変更できません。

詳細はX severのサイトでご確認ください→ <https://www.xserver.ne.jp/bizhp/create-email-address/>

# Step1

## 独自ドメインを取得してメールアドレスをつくろう 4

【手順3】独自ドメインを使うための設定をサーバーに追加しよう

### ① 「サーバーパネル」にログインする

トップページ内、サーバー契約の右側にある、「**サーバー管理**」をクリック。

The screenshot shows the Xserver Control Panel. At the top, there's a header with 'サーバー' (Server) and a '追加申し込み' (Add Application) button. Below it is a table with columns for 'サーバーID', '契約', 'プラン', 'サーバー番号', and '利用期限'. A row shows '通常' (Normal), 'スタンダード' (Standard), '2024/02/29', and '自動更新' (Automatic Renewal). Below this is a 'File Management' button and a 'Server Management' button, which is highlighted with a red rectangle. Another red rectangle highlights the 'Domain' section below. The 'Domain' section has a 'Domain Name' table and buttons for '+ Domain Purchase' and '+ Domain Transfer'. At the bottom right of the main area is a vertical ellipsis menu.

### ② ドメイン設定をクリック

サーバーパネルのトップページに並んでいるメニューのなかから、「**ドメイン設定**」をクリック

The screenshot shows the 'Domain Settings' section within the Xserver Control Panel. The top navigation bar includes 'サーバーID', 'WEBメール', 'ファイルマネージャ', and 'マニュアル'. The main area is titled 'サーバーパネル' and contains several tabs: 'アカウントデータ' (Account Data), 'アカウント' (Account), 'メール' (Email), 'ドメイン' (Domain), 'ホームページ' (Home Page), 'FTP', 'アクセス解析' (Access Analysis), 'データベース' (Database), and '高速化' (Optimization). The 'ドメイン' tab is selected and highlighted with a red rectangle. Under the 'ドメイン' tab, there are links for 'ドメイン設定' (Domain Setting), 'サブドメイン設定' (Subdomain Setting), 'DNSレコード設定' (DNS Record Setting), 'SSL設定' (SSL Setting), and '動作確認URL' (Operation Confirmation URL).

詳細はX severのサイトでご確認ください→ <https://www.xserver.ne.jp/bizhp/create-email-address/>

# Step1

## 独自ドメインを取得してメールアドレスをつくろう 5

【手順3】独自ドメインを使うための設定をサーバーに追加しよう

### ③ 「ドメイン設定追加」をクリック

「ドメイン設定追加」をクリック

ドメイン設定

関連マニュアル

独自ドメイン設定の追加、削除を行うことができます。追加したドメイン設定を利用して、メールアカウントやFTPアカウントを作成することができます。

▼ ドメイン設定一覧 > ドメイン設定追加

ドメイン名	初期化	削除
[グレーハイライト]	初期化	削除できません
[グレーハイライト]	初期化	削除

### ④ 「確認画面へ進む」をクリック

取得したドメイン名を「.com」「.net」などまで入力し、「確認画面へ進む」をクリック。

ドメイン設定

関連マニュアル

独自ドメイン設定の追加、削除を行うことができます。追加したドメイン設定を利用して、メールアカウントやFTPアカウントを作成することができます。

> ドメイン設定一覧 < ドメイン設定追加

ドメイン名  
例) example.com/xserver-sample.com

無料独自SSLを利用する（推奨）  
 高速化・アクセス数拡張機能「Xアクセラレータ」を有効にする（推奨）

確認画面へ進む

# Step1 独自ドメインを取得してメールアドレスをつくろう 6

【手順3】独自ドメインを使うための設定をサーバーに追加しよう

## ④ 「確認画面へ進む」をクリック

入力したドメイン名を確認し、間違いがなければ、「追加する」をクリック。

The screenshot shows a web-based domain management interface. At the top, there's a dark header bar with the text 'ドメイン設定' (Domain Settings) on the left and '関連マニュアル' (Related Manual) on the right. Below the header, a message states: '独自ドメイン設定の追加、削除を行うことができます。追加したドメイン設定を利用して、メールアカウントやFTPアカウントを作成することができます。' (You can add or delete domain settings. You can use the added domain settings to create email accounts or FTP accounts.) There are two buttons at the top: 'ドメイン設定一覧' (List of Domain Settings) and 'ドメイン設定追加' (Add Domain Setting), with 'ドメイン設定追加' being the active tab. The main area is titled '以下のドメイン設定を追加しますか?' (Are you adding the following domain settings?). It contains three rows of input fields:

ドメイン名	example.com
無料独自SSL設定	追加
Xアクセラレータ	有効にする

At the bottom, there are two buttons: '戻る' (Back) and '追加する' (Add). The '追加する' button is highlighted with a red rectangle and a cursor arrow pointing to it.

以上で独自ドメインを使うための設定は完了です。  
次に、メールアドレス作成に進みます！

# Step1

## 独自ドメインを取得してメールアドレスをつくろう⑦

【手順4】メールアカウントを設定しよう

### ① 「メールアカウント設定」をクリックする

サーバーパネルにログインして、  
「メールアカウント設定」をクリック。

The screenshot shows the 'Server Panel' interface. On the left, there's a sidebar with 'Account Data' containing various server statistics like CPU usage, memory, and disk space. The main area has tabs for 'Account', 'Email', 'Domain', 'Homepage', 'FTP', 'Access Analysis', 'Database', and 'Optimization'. The 'Email' tab is active, and its sub-menu includes 'Email Account Setting' which is highlighted with a red box.

### ② ドメインを選択する

メールアカウントを設定するドメインを選択しましょう。

#### ドメイン選択画面

メールアカウントを設定するドメインを選択してください。

0-9 I A B C I C I D E F I G I H I I I J I K I L I M I N I O I P I Q I B I S I T I U I V I W I X I Y I Z I 日本語

ドメイン名	メールアカウント	
すべてのドメイン	1個	<a href="#">選択する</a>
	0個	<a href="#">選択する</a>
	0個	<a href="#">選択する</a>
	1個	<a href="#">選択する</a>

# Step1 独自ドメインを取得してメールアドレスをつくろう 8

【手順4】メールアカウントを設定しよう

## ③ 「メールアカウント追加」をクリック

「メールアカウント追加」をクリック

メールアカウント設定

メールアカウントの作成、削除、転送設定、パスワード変更、メールソフト設定の確認を行うことができます。

▶ メールアカウント一覧 > メールアカウント追加 > メールアカウント一括登録 > メールソフト設定

設定対象ドメイン [ ] 変更 メールアドレスを検索する [ ]

メールアカウント	使用容量／最大容量	コメント	転送	変更	削除
現在、メールアカウントはありません。					

### ワンポイントアドバイス

メールアカウントでは、自由に文字列を設定できます。

よく利用されるメールアカウントは、以下を参考にしてみてください

- info@ … 製品やサービスの一般的な情報やお問い合わせに関するメール
- support@ … カスタマーサポートなど、顧客応対に使用するメール
- sales@ … 製品の購入に関するメール
- admin@ … 社内のシステム管理に用いられるメール
- [名前]@ … メンバーごとに割り当てられるメール  
(例) 山田太郎さんの場合: 「t-yamada」や「t.yamada」など

## ④ メールアカウントの情報を入力

メールアカウントの情報を入力し「確認画面へ進む」をクリック

メールアカウント設定

メールアカウントの作成、削除、転送設定、パスワード変更、メールソフト設定の確認を行うことができます。

▶ メールアカウント一覧 > メールアカウント追加 > メールアカウント一括登録 > メールソフト設定

設定対象ドメイン [ ] 変更

メールアカウント <small>?</small>	[ ] @ [ ]
パスワード <small>?</small>	[ ]
容量 <small>?</small>	2000 MB
コメント <small>?</small>	[ ]

確認画面へ進む

### 【パスワード】

任意のパスワードを設定しましょう。

### 【容量】

ひとまず変更は不要です。

### 【コメント】

メールアドレスの用途などを記載しておくと便利です。

確認へ進み「追加する」ボタンをクリックで設定は完了です。

詳細はX severのサイトでご確認ください → <https://www.xserver.ne.jp/bizhp/create-email-address/>

# Step2

## SPFレコードを設定しよう1

### ① 「DNSレコード設定」をクリック

サーバーパネルへログインし「DNSレコード設定」をクリック

The screenshot shows the 'Server Panel' interface. At the top, there are links for 'WEBメール', 'ファイルマネージャ', and 'マニュアル'. Below this is a summary table with various server statistics. On the right side, there is a navigation menu with several categories: 'アカウント', 'メール', 'ドメイン', 'ホームページ', 'FTP', 'アクセス解析', 'データベース', and '高速化'. The 'ドメイン' section contains links for 'ドメイン設定', '迷惑メールフィルタ設定', '自動応答設定', 'SMTP認証の国外アクセス制限設定', 'メールの振り分け', 'メーリングリスト・メールマガジン', 'DKIM設定', and 'DNSレコード設定'. The 'DNSレコード設定' link is highlighted with a red rectangle.

### ② ドメインを選択

設定したいドメインの「選択する」ボタンをクリック

#### ドメイン選択画面

DNSレコードを設定するドメインを選択してください。

0-9IAIBICIDIEIFIGIHIIJIKILMMINIOIPIQIRISITIUIVIWIXIZI日本語

The screenshot shows a 'Domain Selection' screen. It has a header 'ドメイン名' and a message at the bottom right '初期ドメインは選択できません'. The main area lists several domains, each with a '選択する' button to its right. The fourth domain from the top has its '選択する' button highlighted with a red rectangle.

# Step2

## SPFレコードを設定しよう2

### ③ 「DNSレコード一覧」をクリック

「DNSレコード一覧」をクリック

DNSレコード設定

ドメインのDNSレコードを編集することができます。

▼ 使用前のご注意 > DNSレコード一覧 > DNSレコード追加

○ 設定対象ドメイン [ドメイン名] 変更

(!) この機能は上級者向けの機能です  
エックスサーバーで独自ドメインを利用する上で、本機能の利用は通常は必要ありません。  
外部サービスなど複数サービスで対象ドメインを使用する場合に本機能をご利用ください。



### ④ 種別を確認しよう

【種別】と書かれた列を見てください。

ここに『TXT』という種別がある場合とない場合でこの後の設定が変わります。

DNSレコード設定

ドメインのDNSレコードを編集することができます。

> 使用前のご注意 > DNSレコード一覧 > DNSレコード追加

○ 設定対象ドメイン [ドメイン名] 変更

ホスト名	種別	内容	TTL	優先度	変更	削除
[ホスト名]	A	[内容]	3600	0	変更	削除
[ホスト名]	A	[内容]	3600	0	変更	削除
[ホスト名]	A	[内容]	3600	0	変更	削除
[ホスト名]	MX	[内容]	3600	0	変更	削除
[ホスト名]	TXT	[内容]	3600	0	変更	削除



# Step2

## SPFレコードを設定しよう3

『TXT』という種別がない場合の説明

TXTがない場合

### ⑤ 「DNSレコード追加」をクリック

「DNSレコード追加」をクリック

DNSレコード設定

ドメインのDNSレコードを編集することができます。

関連マニュアル

▶ 使用前のご注意 ▶ DNSレコード一覧 ▶ DNSレコード追加

ホスト名	種別	内容	TTL	優先度	変更	削除
[REDACTED]	A	[REDACTED]	3600	0	変更	削除
[REDACTED]	A	[REDACTED]	3600	0	変更	削除
[REDACTED]	A	[REDACTED]	3600	0	変更	削除
[REDACTED]	MX	[REDACTED]	3600	0	変更	削除

### ⑥ 種別を確認しよう

次の情報を入力してください。

- ・ホスト名 無記入（空白のまま）
- ・種別 TXTを選択
- ・内容 v=spf1 include:agml.jp ~allと設定
- ・TTL 変更しません
- ・優先度 変更しません

DNSレコード設定

ドメインのDNSレコードを編集することができます。

関連マニュアル

▶ 使用前のご注意 ▶ DNSレコード一覧 ▶ DNSレコード追加

○ 設定対象ドメイン	変更
ホスト名 ①	[REDACTED]
種別	A ②
内容 ③	[REDACTED]
TTL ④	3600
優先度 ⑤	0

確認画面へ進む

# Step2

## SPFレコードを設定しよう 3

『TXT』という種別がある場合の説明

TXTがある場合

### ⑤ 「変更」をクリック

種別『TXT』の「変更」をクリック

DNSレコード設定

ドメインのDNSレコードを編集することができます。

▶ 使用前のご注意 ▶ DNSレコード一覧 ▶ DNSレコード追加

ホスト名	種別	内容	TTL	優先度	変更	削除
[redacted]	A	[redacted]	3600	0	変更	削除
[redacted]	A	[redacted]	3600	0	変更	削除
[redacted]	A	[redacted]	3600	0	変更	削除
[redacted]	MX	[redacted]	3600	0	変更	削除
[redacted]	TXT	[redacted]	3600	0	変更	削除

### ⑥ 内容にAgentMAILの情報を入力しよう

- ・ホスト名 無記入（空白のまま）
- ・種別 TXTのまま
- ・内容 include:agml.jpを~allの直前に挿入し、include:agml.jpと~allの間に半角スペースを挿入
- ・TTL 変更しません
- ・優先度 変更しません

入力できたら「確認画面へ進む」をクリックして完了です。  
保存が完了したら、そのページを開いた状態でAgentMAILへ移動します。

DNSレコード設定

ドメインのDNSレコードを編集することができます。

▶ 使用前のご注意 ▶ DNSレコード一覧 ▶ DNSレコード追加

ホスト名	種別	内容	TTL	優先度
[redacted]	TXT	v=spf1 +	3600	0

戻る 確認画面へ進む

# Step3

## DKIM署名を設定しよう1

AgentMAILの場合

### ① 「DKIM署名設定」をクリック

AgentMAILのTOPの「DKIM署名設定」をクリック

The screenshot shows the AgentMAIL TOP page. On the left is a sidebar with various menu items like 'メールマガジン', '配信予約', etc. The main area has a 'Welcome to AgentMail' message. Below it is a 'クリックメニュー' (Click menu) with three buttons: 'メールマガジン 新規作成', 'メールマガジン アクセスログ', and 'デフォルト設定'. At the bottom, there are two cards: one for 'WordPress 設定' and another for 'DKIM署名設定', which is highlighted with a red box.

### ② 「DKIM署名新規作成」をクリック

一番上の「DKIM署名新規作成」ボタンをクリック

The screenshot shows the 'DKIM署名一覧' (DKIM Signature List) page. At the top, there's a section for 'DKIM署名新規作成' (New DKIM Signature Creation) with a button that is highlighted with a red box. Below it is a table with columns: '作成日時', 'ドメイン', 'セレクター', and '有効/無効'. A single row is shown: '2019/12/23 16:00', 'agentmail.jp', 'dk1', and a toggle switch set to '有効' (Enabled). There's also a '選択全削除' (Select All Delete) button at the bottom.

### ③ DKIM署名新規追加画面で必要事項に入力しよう

#### ・ドメイン名

先ほど作成したドメイン名を入力。

作成したメールアドレスの@の右側でも確認できます。

#### ・セレクター

1つのドメインに複数のDKIM署名を設定できます。

それぞれを識別しやすいように名前をつけましょう。

半角英数字で入力してください。

保存後、最後尾にagmlsという文字列が追加されます。

#### DKIM署名の新規追加

ドメイン名\*

メールアドレスの@の右側の文字列がドメイン名です。

セレクター\*

プロジェクトの名前に沿った文字列にすると管理しやすくなります。

保存する

# Step3

## DKIM署名を設定しよう1

ラブレターテンプレート単体の場合

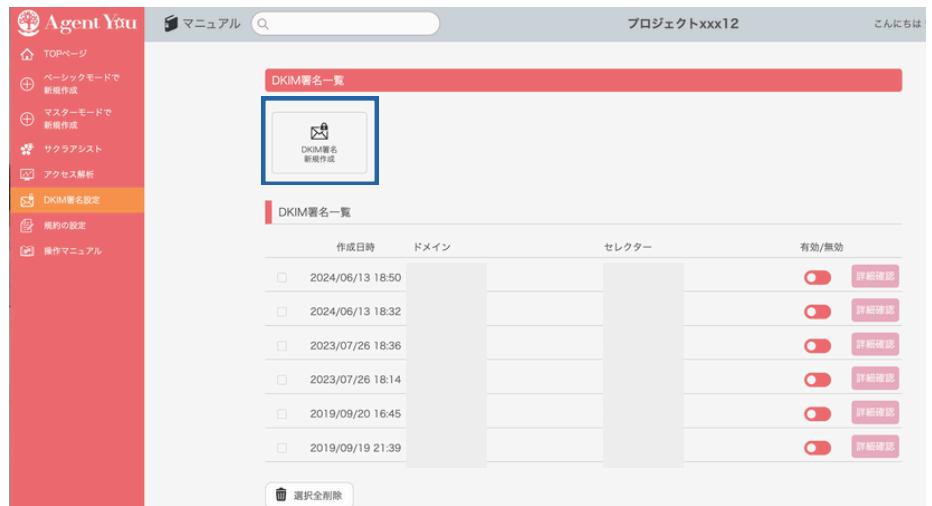
### ① 「DKIM署名設定」をクリック

ラブレターテンプレート単体プランのみ  
TOPページのサイドメニュー「DKIM署名設定」をクリック



### ② 「DKIM署名新規作成」をクリック

一番上の「DKIM署名新規作成」ボタンをクリック



### ③ DKIM署名新規追加画面で必要事項に入力しよう

#### ・ドメイン名

先ほど作成したドメイン名を入力。  
作成したメールアドレスの@の右側でも確認できます。

#### ・セレクター

1つのドメインに複数のDKIM署名を設定できます。  
それぞれを識別しやすいように名前をつけましょう。  
半角英数字で入力してください。  
保存後、最後尾にagmlsという文字列が追加されます。

The screenshot shows a form titled 'DKIM署名の新規追加'. It has two input fields: 'ドメイン名\*' and 'セレクター\*'. The 'ドメイン名\*' field contains the placeholder 'メールアドレスの@の右側の文字列がドメイン名です'. The 'セレクター\*' field contains the placeholder 'プロジェクトの名前に沿った文字列にすると管理がしやすいです (半角英数字で入力)'. At the bottom right, there is a red '保存する' (Save) button.

# Step3

## DKIM署名を設定しよう2

### ④ DKIM署名詳細管理ページを確認

DKIM署名新規追加ページで「保存する」をクリックすると、DKIM署名詳細管理画面に移動しますの、このページを開いた状態にしておいてください。

The screenshot shows the 'DKIM署名詳細管理' (DKIM Signature Management) page. It includes sections for 'ステータス' (Status) and 'DKIM署名の基本情報' (Basic Information). In the basic information section, the 'ドメイン名' (Domain Name) is set to 'agentmail.jp'. The 'セレクター' (Selector) field contains 'agmils'. A note states: '※ 実際に設定された文字列の後に『agmils』が付与されています。' (The actual setting string ends with 'agmils'). The 'DNSレコード' (DNS Record) section shows a 'ホスト名' (Host Name) of 'agentmail.jp.' and a 'タイプ' (Type) of 'TXT'. The '内容' (Content) field displays a long base64-encoded string starting with 'v=DKIM1; h=rsa-sha256; k=rsa; p=MIGfMA0GCSqGSIb3DQEBAQUAAQGNADCBiQKBgQC2jt07ymC9dDtR5sd1vfm8auOjikXqvqr3R+65Qqs3EmBpArI2EUYlmdSNX6hWLZcVYkiwT/05TV9VZx4rlfaWcm7yRergHta03WUpw9pBEB+NU1cCT68BBWryuCp+Z23zXYwZRoo3MCa0CuYgVRwRLwzcgvniw902mQIDAQAB'. A red button at the bottom right says '編集する' (Edit).

### ⑤ Xseverに戻る

AgentMAILは開いた状態で、別のタブで開いたままにしておいたXseverに戻りましょう。

The screenshot shows the 'DNSレコード設定' (DNS Record Setting) page. It has tabs for '使用前のご注意' (Pre-use Note), 'DNSレコード一覧' (List of DNS Records), and 'DNSレコード追加' (Add DNS Record). The 'DNSレコード一覧' tab is selected. A message box says: 'ドメインにて、DNSレコードの変更が完了しました。' (The change of the DNS record has been completed). A '戻る' (Back) button is visible.

Xseverを閉じてしまった方は、サーバーパネルにログインをして「DNSレコード設定」をクリックし、設定するドメイン名の「選択する」をクリック。

The screenshot shows the Xsever server panel. At the top, there are links for 'サーバーID' (Server ID), 'WEBメール' (Web Mail), 'ファイルマネージャ' (File Manager), and 'マニュアル' (Manual). The main area has several tabs: 'アカウントデータ' (Account Data), 'アカウント' (Account), 'メール' (Email), 'ドメイン' (Domain), 'ホームページ' (Home Page), 'FTP', 'アクセス解析' (Access Analysis), 'データベース' (Database), and '高速化' (Optimization). The 'ドメイン' tab is selected. In the 'ドメイン' section, a red box highlights the 'DNSレコード設定' (DNS Record Setting) link under the 'DNSレコード' (DNS Record) heading.

# Step3

## DKIM署名を設定しよう3

### ⑥ 「DNSレコード追加」をクリック

「DNSレコード追加」をクリック

DNSレコード設定

ドメインのDNSレコードを編集することができます。

▶ 使用前のご注意 ▶ DNSレコード一覧 > DNSレコード追加

『 ドメインにて、DNSレコードの変更が完了しました。

戻る

もしくは、下記の画面。

DNSレコード設定

ドメインのDNSレコードを編集することができます。

▶ 使用前のご注意 ▶ DNSレコード一覧 > DNSレコード追加

○ 設定対象ドメイン [ドメイン] 変更

この機能は上級者向けの機能です  
エックスサーバーで独自ドメインを利用する上で、本機能の利用は通常は必要ありません。  
外部サービスなど複数サービスで対象ドメインを使用する場合に本機能をご利用ください。

### ⑦ AgentMAILの情報をXseverに入力する

AgentMAILに記載されている情報(ホスト名・種別・内容)をコピーしてXseverにペーストしたら「確認画面へ進む」をクリックし、追加が完了となります。

DKIM署名の基本情報

ドメイン名: agentmail.jp  
セレクター: dk1agmails  
※ 実際に設定された文字列の後に「agmails」が付与されています。

DNSレコード

① ホスト名: dk1agmails.\_domainkey  
② タイプ: TXT  
③ 内容: v=DKIM1; h=rsa-sha256; k=rsa; p=MIGfMA0GCSqGSIb3DQEBAQUAA4GNQCBQKBgQC2Jt0jmvC9dDtR5sod1vrmBau0jkXvqar3R+6SIQqs3EmBpAr12EUYLmdSNX6nWLZcVYkiwT/05TV9ZVX4rMfaWcm7yRergHta03WUpvw8pBEp+NU1cCT6BBWryuCp+Z23xXYwZRoq3MCAoCuYgRwRLwzcgymw902mQlDAQAB\*

DNSレコード設定

ドメインのDNSレコードを編集することができます。

▶ 使用前のご注意 ▶ DNSレコード一覧 > DNSレコード追加

○ 設定対象ドメイン [ドメイン] 変更

① ホスト名: [入力欄]  
② 種別: A  
③ 内容: [入力欄]  
TTL: 3600  
優先度: 0

確認画面へ進む

# Step4

## メールマガジンの差出人メールアドレスに設定しよう

### ① メールマガジンの差出人メールアドレスに設定

AgentMAIL TOPページの「デフォルト設定」をクリック



#### ワンポイントアドバイス

デフォルト設定を使用しない場合は、メールマガジン新規作成ページの差出人メールアドレスに、先ほど作成したメールアドレスを設定し「その他の設定」の中にあるDKIM署名の『使用する』を選択、設定することを忘れないでください。

### ② 作ったメールアドレスを設定する

差出人メールアドレスを、先ほど作成したメールアドレスに変更し、DKIM署名の「使用する」を選択して設定して保存ボタンをクリック。

AgentMAILの場合

メールマガジンのデフォルト設定の編集

デフォルト設定	<input checked="" type="radio"/> 使用しない	<input type="radio"/> 使用する
差出人名	[入力欄]	
差出人メールアドレス	<input type="text" value="example@example.com"/> [選択肢: example@example.com, example2@example.com]	
バックナンバー	<input checked="" type="radio"/> 公開しない	<input type="radio"/> 公開する
定型文	<p>ヘッダー定型文 <input checked="" type="radio"/> 使用しない <input type="radio"/> 使用する</p> <p>フッター定型文 <input checked="" type="radio"/> 使用しない <input type="radio"/> 使用する</p>	
メールフレーム	<input checked="" type="radio"/> 使用しない	<input type="radio"/> 使用する
スマートフィルター	<input checked="" type="radio"/> 使用しない	<input type="radio"/> 使用する
DKIM署名	<p><input type="radio"/> 使用しない <input checked="" type="radio"/> 使用する</p> <p>選択してください</p>	

# Step4

## 返信メールの差出人メールアドレスに設定しよう

### ① フォーム作成に移動

ラブレターテンプレートのTOPページから新規作成、もしくは作成済み一覧から編集をスタート。  
サイドメニューの「フォーム作成」をクリック

Agent You マニュアル 検索 プロジェクトxxx12 こんにちは

TOPページ

ベーシックモードで新規作成  
マスターで新規作成

マスターで新規作成

マスターで新規作成

DKIM署名設定

規約の設定

操作マニュアル

ベーシックモードで新規作成  
ラブレター模造をマスターしたい人へ！テンプレート固定ですぐつくれる！

マスターで新規作成  
構造を自由にカスタマイズしてピットパターンを見つける！

こんなには  
ランディングページを作って満足していませんか？作りっぱなしではもったいない。アクセス解析リンクを発行して、ランディングページのURLをSNSや電子書籍などに設置するとお客様がどこからきてくれたのかわかります。そこから把握できる情報はたくさんあります。直し改善に活かすことができます。叶えたい未来はあなたの記録で創る。分析効果測定ツールAgentLOGを使ってみませんか？

詳細を見る

Created 作成済み一覧

umiコンサルチェック

ランディングページURL  
公開／非公開  
ラブレターテンプレート管理  
登録履歴の管理

作成日時 2024/06/30 15:03

編集する 複数する 削除する

1-20件表示 / 117件

### 返信メールの差出人メールアドレスに設定

サイドメニューの設定タブにある返信メールをクリック。  
差出人メールアドレスに、先ほど作成したメールアドレスを  
入力し、DKIM署名の「使用する」を選択してフォームを保  
存したら完了。

Agent You マニュアル 検索 プロジェクトxxx12 こんにちは

フォーム新規作成

返信メールの設定

返信メール名\*

差出人名\*

差出人メールアドレス\*

DKIM署名

HTMLメールを書く

HTMLメール ブラントキスト プレビュー

件名を入力してください

ファイル 編集 表示挿入書式ツール表

段落 14px Verdana 段落

19

ラブレターテンプレート単体の場合

# Step5

## DMARCの設定をしよう

### ① 「DNSレコード設定」をクリック

サーバーパネルへログインし「DNSレコード設定」をクリック

The screenshot shows the server panel interface. On the left, there's a sidebar with 'Account Data' and 'Setting Target Domain Data'. The main area has tabs for 'Account', 'Mail', 'Domain', 'Home Page', 'FTP', 'Access Analysis', 'Database', and 'Optimization'. The 'Domain' tab is active, and its sub-menu includes 'Domain Setting', 'Sub-Domain Setting', and 'DNS Record Setting'. The 'DNS Record Setting' option is highlighted with a red box.

### ② ドメインを選択

設定したいドメインの「選択する」ボタンをクリック

#### ドメイン選択画面

The screenshot shows a 'Domain Selection' screen. It has a header with Japanese text '0-9 I A B C I C I D I E I F I G I H I I I J K I L I M I N I O I P I Q I R I S I T I U I V I W I X I Y I Z I 日本語'. Below it is a table with columns for 'Domain Name' and 'Select'. There are four rows, each with a 'Select' button in the 'Select' column. The fourth row's 'Select' button is highlighted with a red box.

# Step5

## DMARCの設定をしよう

### ③ 「DNSレコード追加」をクリック

「DNSレコード追加」をクリック

DNSレコード設定

ドメインのDNSレコードを編集することができます。

関連マニュアル

▼ 使用前のご注意 > DNSレコード一覧 > **DNSレコード追加**

○ 設定対象ドメイン  変更

この機能は上級者向けの機能です  
エックスサーバーで独自ドメインを利用する上で、本機能の利用は通常は必要ありません。  
外部サービスなど複数サービスで対象ドメインを使用する場合に本機能をご利用ください。



### ④ 設定しよう

- ・ホスト名 \_dmarc
- ・種別 TXT
- ・内容 v=DMARC1; p=none;
- ・TTL 変更しません
- ・優先度 変更しません

入力できたら「確認画面へ進む」をクリックして完了です。

DNSレコード設定

ドメインのDNSレコードを編集することができます。

関連マニュアル

▼ 使用前のご注意 > DNSレコード一覧 > **DNSレコード追加**

○ 設定対象ドメイン  変更

ホスト名 <small>?</small>	<input type="text" value=""/>
種別	A
内容 <small>?</small>	<input type="text"/>
TTL <small>?</small>	3600
優先度 <small>?</small>	0

**確認画面へ進む**



# 最後に、DNSレコードが反映されたかを確認しよう！

## 最後に、確認してみよう！！

DNSレコードが世の中（世界中）に反映されるまで、最大48時間ほど必要です。DKIM署名の詳細確認ページで反映されたかを確認することができます。

反映が完了したら、

『DNSレコードチェック完了しました。反映済みです。』

と表示されます。

表示がされていない場合は、もうしばらく待ってから再度確認をしてみてください。

DKIM署名詳細管理

DKIM署名のステータス

ステータス

DNSレコードチェック完了しました。反映済みです。

反映済みとなっても、世界中に設定が反映されるまでは最大48時間ほど必要です。

## ワンポイントアドバイス

### 【メールソフトの設定について】

独自ドメインを取得して、メールアドレスを作成し、差出人メールアドレスに設定完了！「あれ？もしもこのメールアドレスに返信があった場合、どうやってその内容を確認したらいいんだろう？」

と思った方もいるのではないでしょうか？

メールソフトの設定は下記URLをクリックして確認してください。

[https://www.xserver.ne.jp/manual/man\\_mail\\_setting.php](https://www.xserver.ne.jp/manual/man_mail_setting.php)